

平成30年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会（東温市地域公共交通会議）

次 第

日時：平成30年6月26日（火）

午前10時～

場所：東温市役所4階 大会議室

1. 開会

2. あいさつ

3. 協議・報告事項

（1）平成29年度事業報告について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料1】

（2）地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について・・・・・・・・・・【資料2】

（3）地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の二次評価結果について・・・・・・・・・・・・・・・・・・【資料3】

4. 閉会

<事前送付資料>

【資料1】平成29年度事業報告

【資料2】地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

【資料3】地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の二次評価結果

平成30年度第1回

東温市地域公共交通活性化協議会（東温市地域公共交通会議）出席者名簿

	団体	役職	委員	備考
1	東温市	副市長	大石 秀輝	
2	株式会社伊予鉄グループ	取締役	大政 憲司	(代理) 畦地 大輔
3	東温市タクシー連絡協議会	会長	和田 宏一	
4	愛媛県バス協会	専務理事	稲荷 和重	(欠席)
5	愛媛県ハイヤー・タクシー協会	専務理事	田所 秀志	(欠席)
6	国土交通省松山河川国道事務所	計画課長	福田 尊元	(欠席)
7	愛媛県中予地方局	建設企画課長	石井 利幸	
8	東温市産業建設部	部長	丹生谷 則篤	
9	東温市区長会	会長	三棟 義博	
10	東温市老人クラブ連合会	会長	田中 康雄	
11	東温市婦人会	会長	高須賀 恵美子	
12	東温市PTA連合会	顧問	門地 剛史	(欠席)
13	東温市社会福祉協議会	会長	藤原 弘	
14	市民の代表（公募）		藤本 貞夫	(欠席)
15	市民の代表（公募）		横手 裕子	
16	松山南警察署	交通調査官	田村 修也	(代理) 田中 直志
17	伊予鉄道労働組合	副執行委員長	寺田 淳泰	(欠席)
18	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (総務・企画担当)	山本 充一	
19	四国運輸局愛媛運輸支局	首席運輸企画専門官 (輸送・監査担当)	谷本 昌啓	
20	愛媛県	中予地方局 地域政策課長	久保田 晶	

平成30年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会 議事録

日 時： 平成30年6月26日(火) 10:00~10:40

会 場： 東温市役所 大会議室

1. 開会

進 行： これより平成30年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会を開会する。

2. あいさつ

会 長： <挨拶>

3. 協議・報告事項

(1) 平成29年度事業報告について

事務局： <説明(資料1)>

会 長： 一点ずつご意見・ご質問があれば伺いたいと思う。まず、1. 予約制乗合タクシー「上林線」の本格運行の決定について何かご意見はあるか？

和 田： 実証運行から始まって3年半だが、開始当初と比べると、地元に着定してきたと感じている。1週間に火曜日と木曜日の2日間の運行だが、ほとんど利用がある状況となっている。

会 長： 運行開始から3年半がたち、今年の4月から本格運行ということなので、地域にも定着した公共交通という位置づけができていと思う。他にご意見はないか？なければ次に2. パーク&ライド、サイクル&ライドの推進についてご意見はあるか？

事務局： 現在は市役所西駐車場の1か所で土日祝日のみ実施しており、週に2~3件ほどの利用がある。

会 長： 他に意見がなければ、次に3. モビリティ・マネジメントの推進についてだが、今回は市民課の窓口で聞き取り調査をして、転入世帯29世帯に配布を行い、窓口でも周知徹底を図ったとのことであるが、この件についてご意見はあるか？

谷 本： 転入世帯全員に公共交通ガイドの配布と、希望者に最寄りの駅の地図や時刻表等を送付したとのことであるが、配布を行った半年程経過した後に、意見を聞くようにしたほうが良いと思うが、そのような調査は予定しているのか？

事務局： 今のところ予定はしていないが、平成26年度に同じような取組をした際は、追跡調査として、対象者にアンケート調査等を実施している。その際に、モビリティ・マネジメントの効果が実証されたので昨年度及び本年度も実施することとしている。

谷 本： 簡単なアンケート調査等でも良いと思うので、追跡調査も実施した方がより効果的ではないかと思う。

会 長： 事務局で追跡調査についても検討いただきたいと思う。続いて4. 公共交通ニュースの掲載についてなにかご意見はあるか？

横 手： いつも私たちの取組を広報に載せていただいて、一人ではなかなか行動できない方も、このような取組があるというのを知って参加をされる方もいる。本日事業報告で載せていただいている記事は、昨年のもものだが、今年の6月にも実施したところ、応募が多く、バスも満席状態であったので非常に良かったと思う。話が戻ってしまうが、パーク&ライドの取組について、私たちが実施しているツアーでは、松山市からの参加の方などは、川内支

所の駐車場を10台ほどお借りして、そこに車を停めてパーク&ライドとして路線バスに
乗車していただくようにしている。松山市や新居浜市、伊予市等から参加された方からは、
このような利用の仕方は非常に良いというご意見もいただいているので、もし可能であ
れば、2～3台ほどで構わないのでスペースを確保していただけると、車を停めてバスに乗
って、歩いたりということもできると思うので、そのあたりも検討していただきたいと思
う。

会 長： 川内支所は、川内公民館、保育園、児童館等の利用者も駐車されることが多いが、土日祝
日限定ということなので、そのあたりも事務局で検討していただきたいと思う。続いて5.
公共交通利用促進イベントの実施については何かご意見はあるか？

各委員： <質問・意見なし>

会 長： それでは続いて、6. その他ということで、乗合タクシー停留所の更新、川内インター
チェンジの高速バス待合所に地図の掲示、東温市成人式で公共交通ガイドの配布を行ったと
いうことで、平成29年度も様々な取組を実施したが、全体を通じて何かご意見はある
か？

各委員： <質問・意見なし>

会 長： ないようなので、先ほどの事業報告について承認いただけるか？

各委員： <全員賛成>

会 長： 承認いただいたので、以上で平成29年度事業報告を終わる。

(2) 地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について

事務局： <説明(資料2)>

会 長： 何かご質問等はあるか？

山 本： 昨年度の山間バス路線全体での平均利用者数が1便あたり3.5人ということであるが、
河之内線のみではどのくらいの利用者数なのか？

事務局： 3人以上の利用者数である。

会 長： 他に何かご質問等はあるか？

各委員： <質問・意見なし>

会 長： ないようなので案のとおり計画を決定し、国に申請することとしてよいか？

各委員： <全員賛成>

会 長： 承認を得られたので、案のとおり計画を決定し、国に申請を行う。

(3) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価の二次評価結果について

事務局： <説明(資料3)>

会 長： 何かご質問等はあるか？

谷 本： 利用促進の観点では、東温市は非常によく取組をされているという印象がある。個人的
にいうと、最近では運輸業が人材不足であるという話をよく聞いていて、昔に比べて若い人が
車の免許等にも関心が薄いという現状がある。本日の協議会の資料の中に、東温市の成人
式で公共交通ガイドの配布を行ったという記載があったが、このような取組の影響や、モ
ビリティ・マネジメントの取組がどのような効果を与えるのかといったことが、個人的に
は興味深いところである。

会 長： 他にご質問等はあるか？

三 棟： 公共交通の問題点等を抽出するために、今までの取組等をDVDに収めたりして、定期的に流したりするということはしているのか？書面で数値等が記載されてあってもあまりピンと来ないと思う。

丹生谷： 市のホームページに掲載をしているのではないかな？

事務局： 市のホームページよりは、広報誌の方が公共交通の取組等は多く掲載している。

会 長： 一番市民の方に周知できるのは広報誌やホームページだと思う。DVDで掲載となるとなかなか経費的にも難しい部分があるのではないかな。他にご意見はないかな？ないようであるので本日の協議、報告事項は終わらせていただく。

4. その他

会 長： せっかくの機会であるので、その他公共交通に関して、全体を通じてご意見等はあるかな？

田 中： 警察では現在、高齢者事故防止対策として、運転免許の自主返納を推進している。その中で一番ネックとなっているのが、免許返納後の移動手段の確保であり、地方の公共交通を充実させるというのが、その問題点の解決になると思うので、そのような対策もどんどん進めていただきたいと思う。

会 長： 東温市も昨年の9月から、免許返納自主返納サポート事業を開始している。山間部に限らず、運転免許を返納すると、移動手段がなくなるという問題がある。そのような意味でも、この協議会で公共交通の活性化に向けて取り組んでいきたいと思う。

横 手： 公共交通を維持していくには、利用促進に努めるというのが、一番大事なことであると思うが、受け身の姿勢で待っているだけではなく、人を公共交通に乗せていくといった姿勢も大事であると思う。東温市で開催されているイベントや学校行事等と連携して、社会勉強も兼ねて、路線バスや電車を利用するといった取組も進めていったらいいのではないかなと思う。東温市は、山之内の漣痕化石や、滑川にも珍しい地層があるので、夏に希望者で路線バスを使って勉強しに行くといった企画も良いのではないかなと思う。最近の子どもは車での移動が多くなっているから、バスの乗り方もよく分からない子どもも多いと思う。公共交通に乗ったことがあるという体験は、その後に繋がると思うので、そのようなところにも目を向けて行くことができればいいと思う。

会 長： 学校教育課が年間を通して、市内の社会勉強の一環としての取組や、スポーツ大会等を開催しているが、その時に極力公共交通を利用するよう、事務局から教育委員会にこのようなご意見があったことは伝えていただければと思う。

畦 地： 川内線が運行しているさくらの湯のスロープを、東温市に昨年度整備していただいている。整備する前は、低床の大型バスは底が低く、車体をこすってしまう危険性があったので、川内線では走っていなかったが、この度の整備により、恐らく現在は1両ほどではあるが、大型の低床バスが走っている。今後、急にすべてが低床車両に変わるというのは難しいと思うが、高齢の方でも利用しやすいように、徐々に低床バスが増えていくと思うので、利用促進ができるように、先ほどの路線バス体験教室のような事業も引き続き協力させていただきたいと思うので、今後もよろしくお願ひしたい。

久保田： 東温市は公共交通の取組が進んでおり、参考にさせていただいているところも多いと思うので、引き続き皆さんで公共交通の活性化に向けて取り組んでいただきたいと思う。

会 長： 他に何か質問や意見はあるか？

各委員： <質問・意見なし>

5. 閉会

進 行： 以上で平成30年度第1回東温市地域公共交通活性化協議会を閉会する。